

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成29年10月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質(一般項目)、騒音・低周波空気振動】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9
3. 騒音・低周波空気振動	II - 10

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 29 年 10 月（大気質、水質、騒音・低周波空気振動）の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	10月1日～31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	10月11日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

表-1(3) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 騒音・低周波空気振動）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波空気振動音圧レベル	1点(大阪南港野鳥園)	10月12日～13日	2回/年 (4月、10月)

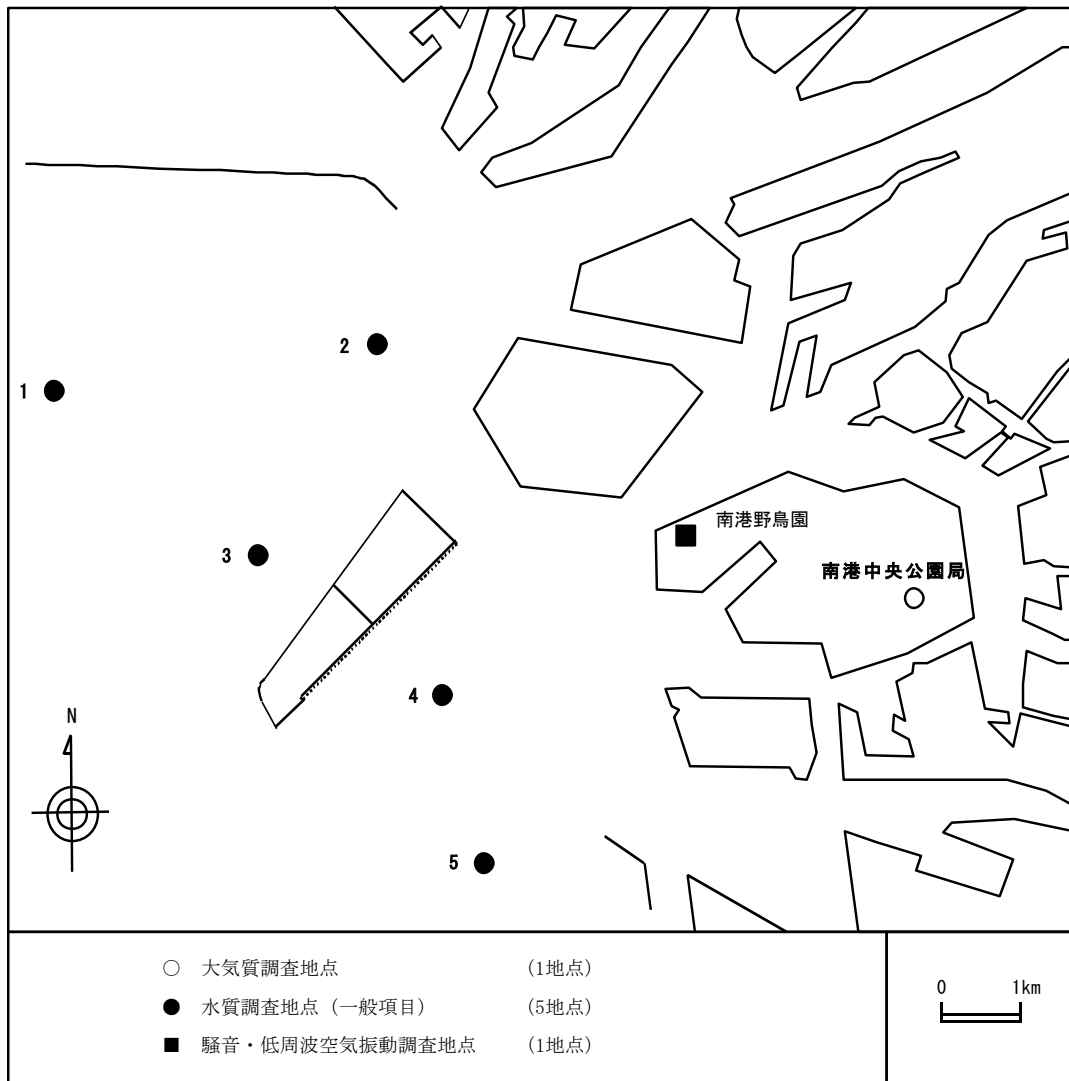
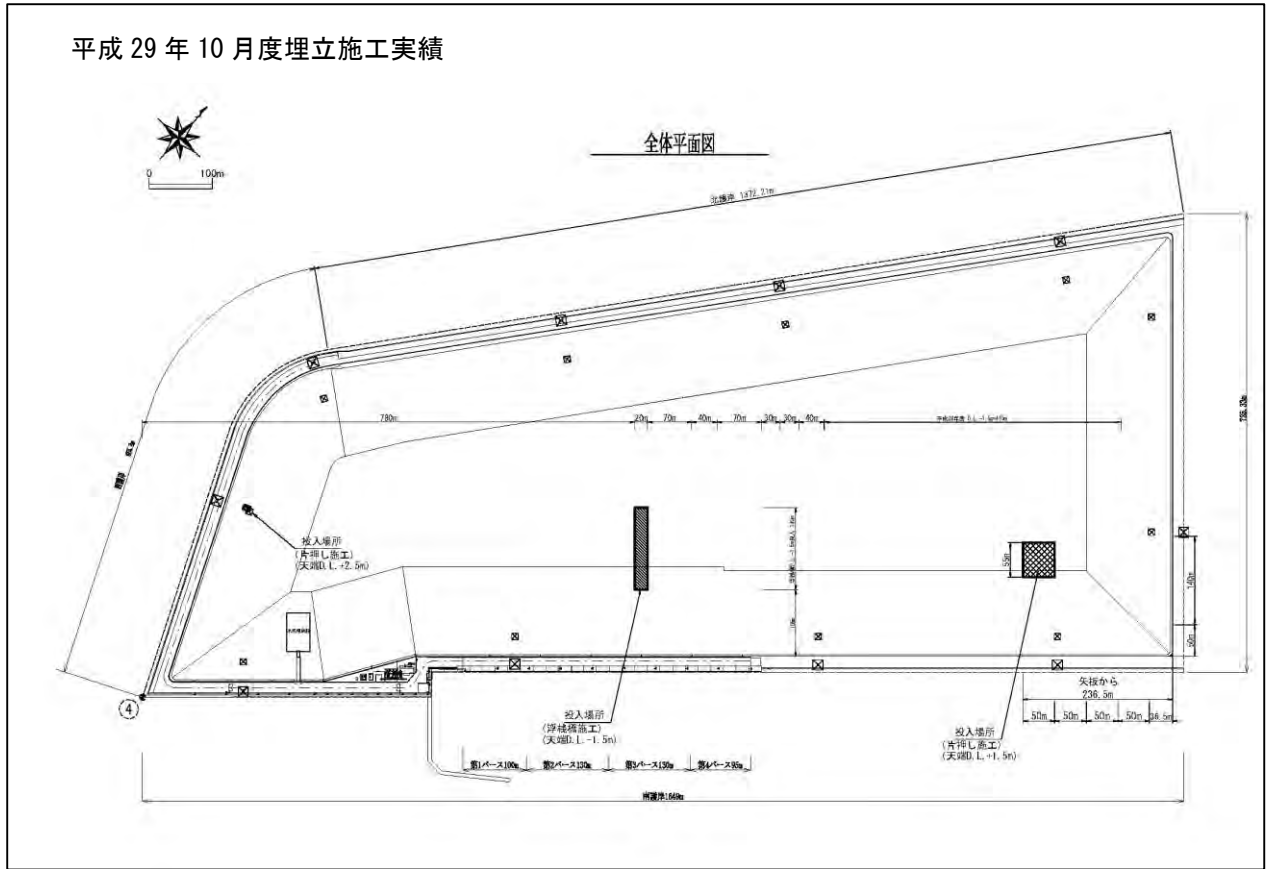


図-1 大気質・水質(一般項目)、騒音・低周波空気振動の調査地点

2. 工事の実施状況

平成 29 年 10 月の工事の実施状況は、図－2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
4,308,670	30.8

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図－2 工事の実施状況

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.002ppmであった。また、日平均値の最高値は0.007ppm、1時間値の最高値は0.024ppmであり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値0.04～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.021ppmであった。また、日平均値の最高値は0.039ppmであり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値0.10mg/m³以下、1時間値：0.20mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.014mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.040mg/m³、1時間値の最高値は0.057mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.2～8.4、下層は全て8.1であり、上層では調査地点1において環境基準値の範囲外であったが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内にあった。

環境基準値の範囲外であった調査結果は、上層における調査地点1(8.4)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で7.7～8.6であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で3.5～4.0mg/L、下層で1.9～2.5mg/Lであり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点1(3.6mg/L)、調査地点2(3.9mg/L)、調査地点3(4.0mg/L)、調査地点4(3.5mg/L)、調査地点5(3.9mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で1.6～4.9mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で9.5～11mg/L、下層で5.2～8.1mg/Lの範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.54～0.74mg/L、下層で 0.28～0.34mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 1、3、4、5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.74mg/L)、調査地点 3 (0.61mg/L)、調査地点 4 (0.68mg/L)、調査地点 5 (0.68mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46～2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.057～0.083mg/L、下層で 0.042～0.052mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では調査地点 2、5 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.066mg/L)、調査地点 2 (0.057mg/L)、調査地点 3 (0.069mg/L)、調査地点 4 (0.082mg/L)、調査地点 5 (0.083mg/L)、下層における調査地点 2 (0.052mg/L)、調査地点 5 (0.052mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021～0.15mg/L、下層で 0.020～0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 2～4 度(カリン)、下層で 3～7 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 2～3mg/L、下層で報告下限値未満 (<1 mg/L) ～2mg/L の範囲であった。

8) クロフィル a

クロフィル a は上層で 15～23 μ g/L、下層で 2.1～2.7 μ g/L の範囲であった。

(3) 騒音・低周波空気振動 [騒音・振動様式第 1～4 号]

1) 騒音【環境基準値：昼間 60 デシベル以下、夜間 50 デシベル以下】

騒音レベル (L_{Aeq}) は、昼間 (午前 6 時～午後 10 時) は平均値 52 デシベル、夜間 (午後 10 時～午前 6 時) は平均値 53 デシベルであり、昼間は環境基準値以下であったが、夜間は環境基準値を上回っていた。

環境基準値を上回った夜間は、日没から早朝まで夜行性の昆虫が活発に活動していたため、騒音レベル (自然音 (虫の鳴声)) が上がり超過したものであり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 低周波空気振動

低周波空気振動の音圧レベル (L_{50}) は、作業時間帯（午前 9 時～午後 6 時）において平均値 72 デシベルであり、環境影響評価時の予測値（73 デシベル）を下回る値であった。図-3 に低周波空気振動の音圧レベルの時間推移を示す。

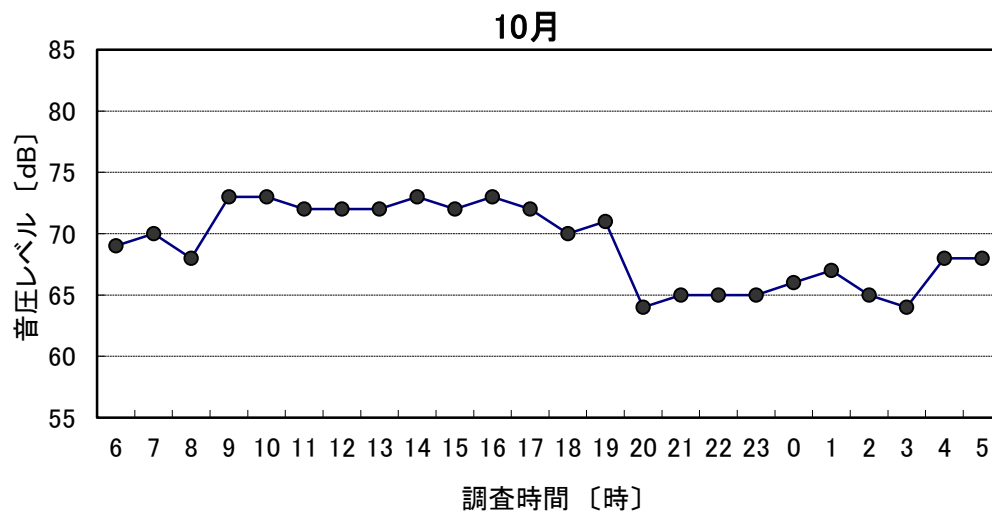


図-3 低周波空気振動の音圧レベルの時間推移

《 参 考 》

■環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

- 注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。
2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。
公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）
- (1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。
75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。
- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音（道路に面する地域以外の地域）

地域の 類型	基準値	
	昼間	夜間
C	60 デジベル以下	50 デジベル以下

注) 1. 時間の区分は以下のとおりである。

昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～午前6時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	-
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。

2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。

3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調査結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表 [平成29年10月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	28
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	673
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	29
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	718
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成29年10月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)	
日	1 (日)	0.003	0.010	
	2 (月)	0.003	0.009	
	3 (火)	0.003	0.005	
	4 (水)	0.002	0.004	
	5 (木)	0.001	0.004	
	別	6 (金)	0.002	0.005
		7 (土)	0.002	0.007
		8 (日)	0.004	0.015
		9 (月)	0.005	0.024
		10 (火)	0.007	0.017
11 (水)		0.004	0.009	
12 (木)		0.002	0.006	
13 (金)		0.001	0.002	
14 (土)		0.003	0.007	
15 (日)		0.000	0.001	
値	16 (月)	0.001	0.003	
	17 (火)	0.001	0.003	
	18 (水)	0.003	0.013	
	19 (木)	0.001	0.002	
	20 (金)	0.001	0.004	
	21 (土)	0.001	0.004	
	22 (日)	0.000	0.000	
	23 (月)	0.001	0.003	
	24 (火)	0.002	0.008	
	25 (水)	0.001	0.003	
	26 (木)	0.004	0.013	
	27 (金)	0.004	0.016	
	28 (土)	0.002	0.003	
	29 (日)	(0)	(0.001)	
	30 (月)	(0)	(0)	
	31 (火)	(0)	(0)	
有効測定日数 (日)		28		
測定時間 (時間)		673		
月平均値 (ppm)		0.002		
日平均値の最高値 (ppm)		0.007		
1時間値の最高値 (ppm)		0.024		
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号（埋立地関連）

一酸化窒素測定結果 [平成 29 年 10 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1 時間値の最高値 (ppm)
日	1 (日)	0.001	0.002
	2 (月)	0.018	0.047
	3 (火)	0.019	0.089
	4 (水)	0.001	0.003
	5 (木)	0.003	0.014
	6 (金)	0.003	0.008
	7 (土)	0.006	0.028
	8 (日)	0.000	0.002
	9 (月)	0.004	0.029
	10 (火)	0.007	0.056
別	11 (水)	0.004	0.029
	12 (木)	0.002	0.008
	13 (金)	0.003	0.010
	14 (土)	0.007	0.028
	15 (日)	0.000	0.001
	16 (月)	0.006	0.022
	17 (火)	0.008	0.023
	18 (水)	0.012	0.056
	19 (木)	0.002	0.009
	20 (金)	0.011	0.030
値	21 (土)	0.003	0.015
	22 (日)	0.000	0.000
	23 (月)	0.001	0.004
	24 (火)	0.007	0.057
	25 (水)	0.003	0.024
	26 (木)	0.020	0.112
	27 (金)	0.013	0.036
	28 (土)	0.003	0.018
	29 (日)	0.000	0.000
	30 (月)	0.001	0.003
	31 (火)	0.012	0.061
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.006	
日平均値の最高値 (ppm)		0.020	
1時間値の最高値 (ppm)		0.112	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [平成 29 年 10 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1 時間値の最高値 (ppm)
日	1 (日)	0.016	0.028
	2 (月)	0.033	0.042
	3 (火)	0.022	0.032
	4 (水)	0.015	0.023
	5 (木)	0.021	0.034
	6 (金)	0.019	0.030
	7 (土)	0.024	0.035
	8 (日)	0.016	0.034
	9 (月)	0.015	0.027
	10 (火)	0.029	0.056
別	11 (水)	0.020	0.034
	12 (木)	0.018	0.034
	13 (金)	0.023	0.033
	14 (土)	0.025	0.038
	15 (日)	0.011	0.015
	16 (月)	0.025	0.040
	17 (火)	0.030	0.042
	18 (水)	0.025	0.034
	19 (木)	0.019	0.033
	20 (金)	0.025	0.037
値	21 (土)	0.022	0.031
	22 (日)	0.007	0.013
	23 (月)	0.010	0.023
	24 (火)	0.026	0.036
	25 (水)	0.022	0.036
	26 (木)	0.039	0.072
	27 (金)	0.035	0.062
	28 (土)	0.019	0.036
	29 (日)	0.008	0.016
	30 (月)	0.013	0.023
	31 (火)	0.028	0.043
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.021	
日平均値の最高値 (ppm)		0.039	
1時間値の最高値 (ppm)		0.072	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [平成29年10月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)
日	1 (日)	0.015	0.025
	2 (月)	0.019	0.029
	3 (火)	0.012	0.027
	4 (水)	0.009	0.013
	5 (木)	0.010	0.017
	6 (金)	0.010	0.014
	7 (土)	0.008	0.018
	8 (日)	0.011	0.019
	9 (月)	0.020	0.030
	10 (火)	0.030	0.054
別	11 (水)	0.040	0.057
	12 (木)	0.018	0.054
	13 (金)	0.006	0.011
	14 (土)	0.012	0.021
	15 (日)	0.008	0.012
	16 (月)	0.006	0.009
	17 (火)	0.009	0.015
	18 (水)	0.016	0.022
	19 (木)	(0.007)	(0.011)
	20 (金)	(0.009)	(0.013)
値	21 (土)	0.007	0.009
	22 (日)	0.003	0.006
	23 (月)	0.010	0.018
	24 (火)	0.016	0.019
	25 (水)	0.014	0.020
	26 (木)	0.025	0.042
	27 (金)	0.023	0.032
	28 (土)	0.015	0.020
	29 (日)	0.005	0.011
	30 (月)	0.023	0.038
	31 (火)	0.023	0.040
有効測定日数 (日)		29	
測定時間 (時間)		718	
月平均値 (mg/m ³)		0.014	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.040	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.057	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成29年10月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (日)	0.6	2.0	ENE, E	CALM
	2 (月)	0.7	1.4	E	NE, E, CALM
	3 (火)	0.7	1.8	N, N	CALM
	4 (水)	1.1	2.2	N	NNE
	5 (木)	1.4	2.2	ENE, ENE	ENE
	6 (金)	2.0	3.2	ENE	NE
	7 (土)	0.4	1.2	ENE	CALM
	8 (日)	0.6	1.7	E	WNW, CALM
	9 (月)	0.6	1.5	WSW	W
	10 (火)	0.6	1.4	WSW, WSW	CALM
別	11 (水)	0.7	1.5	WSW	WSW
	12 (木)	0.9	1.4	N, N	N
	13 (金)	0.9	1.7	N	NNE
	14 (土)	0.4	0.8	E	CALM
	15 (日)	0.5	1.2	ENE	CALM
	16 (月)	0.7	1.5	ENE	NNE
	17 (火)	0.6	1.1	ENE, E	ESE
	18 (水)	1.1	2.3	ENE	ENE
	19 (木)	1.6	3.0	ENE	NE
	20 (金)	0.7	1.8	ENE	NNE
値	21 (土)	0.8	1.5	NNE	NNE
	22 (日)	1.6	4.4	NNE	NNE
	23 (月)	2.0	5.4	N	NW
	24 (火)	0.8	1.7	ENE, E	ENE
	25 (水)	0.8	2.6	NNE	NNE
	26 (木)	0.6	2.2	E	CALM
	27 (金)	0.8	1.3	ESE, ENE	NNE, ENE
	28 (土)	1.5	3.0	ENE	NE
	29 (日)	1.7	3.2	NE	NNE
	30 (月)	1.3	2.8	NW	NW
	31 (火)	0.7	1.4	SW, E	CALM
測定時間 (時間)		24			
月平均風速 (m/s)		0.0			
月最大風速 (m/s)		0.0			
月最多風向 (16方位)		NNE			

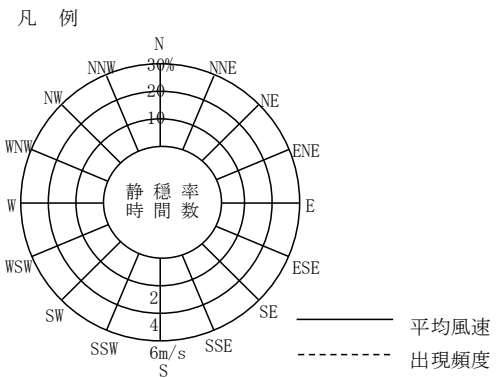
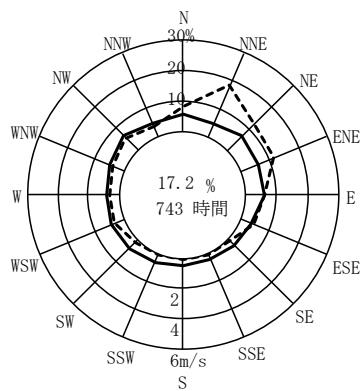
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成29年10月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	134	89	83	43	34	6	2	3	2	10	25	25	30	42	27	60	128	743
頻度 (%)	18.0	12.0	11.2	5.8	4.6	0.8	0.3	0.4	0.3	1.3	3.4	3.4	4.0	5.7	3.6	8.1	17.2	-
平均風速 (m/s)	1.0	1.3	1.2	1.2	0.7	0.6	0.4	0.5	0.6	0.8	0.9	0.8	1.0	1.3	1.0	1.2	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成29年10月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔平成29年10月分〕

調査日：平成29年10月11日

項目	調査点		1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
時刻			8:25	8:08	8:44	9:24	9:07		-		-
透明度	[m]		2.5	2.5	2.9	2.6	1.9	1.9	～	2.9	2.5
水温	[°C]		23.7	23.8	23.6	24.0	24.4	23.6	～	24.4	23.9
			23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	～	23.0	23.0
塩分	[-]		27.9	29.6	30.6	26.9	30.4	26.9	～	30.6	29.1
			32.6	32.6	32.7	32.7	32.7	32.6	～	32.7	32.7
濁度	[度(カリン)]		3	3	3	2	4	2	～	4	3
			5	7	5	5	3	3	～	7	5
浮遊物質 (SS)	[mg/L]		2	2	2	2	3	2	～	3	2
			2	2	1	1	<1	<1	～	2	1
水素イオン濃度 (pH)	[-]		8.4	8.3	8.3	8.3	8.2	8.2	～	8.4	-
			8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	～	8.1	-
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]		3.6	3.9	4.0	3.5	3.9	3.5	～	4.0	3.8
			2.5	2.2	2.0	1.9	2.3	1.9	～	2.5	2.2
溶存酸素量 (DO)	濃度	[mg/L]	10	11	10	9.5	10	9.5	～	11	10
	飽和度	[%]	6.1	5.2	5.5	5.5	8.1	5.2	～	8.1	6.1
全窒素 (T-N)	[mg/L]		139	155	141	132	143	132	～	155	142
			86	73	78	78	114	73	～	114	86
全窒素 (T-N)	[mg/L]		0.74	0.54	0.61	0.68	0.68	0.54	～	0.74	0.65
			0.31	0.34	0.31	0.29	0.28	0.28	～	0.34	0.31
全燐 (T-P)	[mg/L]		0.066	0.057	0.069	0.082	0.083	0.057	～	0.083	0.071
			0.048	0.052	0.044	0.042	0.052	0.042	～	0.052	0.048
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]		16	17	15	17	23	15	～	23	18
			2.1	2.5	2.5	2.7	2.2	2.1	～	2.7	2.4

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

騒音・振動様式第1号（埋立地関連）

環境騒音調査結果総括表〔平成29年10月分〕

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：平成29年10月12日午後0時～10月13日午後0時

	騒音レベル（デシベル）												主音源
	L _{A5}			L _{A50}			L _{A95}			L _{Aeq}			
	平均	最少	最大	平均	最少	最大	平均	最少	最大	平均	最少	最大	
昼間	54	51	58	50	46	56	48	44	53	52	48	56	虫、鳥、車両
夜間	56	54	58	52	49	55	50	45	53	53	50	56	虫

注：1. L_{A5}、L_{A50}、L_{A95}の平均値は算術平均値、L_{Aeq}の平均値はパワー平均値である。

2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

3. 時間区分は、昼間は午前6時から午後10時、夜間は午後10時から午前6時までの間とする。

環境騒音調査結果総括表〔平成29年10月分〕

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：平成29年10月12日～13日

調査時間	時間の区分	地域の類型	環境基準値	騒音レベル (デシベル)				主音源
				L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	
06:00	昼間	C	60dB (A)	57	54	52	54	虫
07:00				54	51	49	52	鳥、車両、船舶
08:00				53	50	49	51	虫、鳥、車両
09:00				56	54	51	54	鳥、車両
10:00				54	52	50	53	鳥、車両
11:00				53	50	48	51	鳥、車両
12:00				52	48	46	49	鳥、車両
13:00				52	48	46	50	車両、航空機
14:00				55	49	47	52	人、鳥、車両
15:00				55	50	47	51	人、鳥、航空機
16:00				54	48	46	50	鳥、車両
17:00				53	47	45	49	車両、船舶
18:00				58	56	53	56	虫
19:00				58	54	46	54	虫
20:00	55	47	44	51	虫			
21:00	51	46	44	48	虫			
22:00	夜間	C	50dB (A)	54	49	45	50	虫
23:00				55	50	47	51	虫
00:00				56	52	49	53	虫
01:00				55	52	51	53	虫
02:00				55	53	51	53	虫
03:00				55	53	51	53	虫
04:00				58	55	53	56	虫
05:00				57	55	53	56	虫
最小値				51	46	44	48	
最大値				58	56	53	56	
平均値				55	51	48	53	

注：1. L_{A5}、L_{A50}、L_{A95}の平均値は算術平均値、L_{Aeq}の平均値はパワー平均値である。
 2. 環境基準はL_{Aeq}である。

低周波空気振動調査結果総括表[平成29年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：平成29年10月12日午後0時～10月13日午後0時

音圧レベル (デシベル)												風速 (m/s)	
L _{A5}			L _{A50}			L _{A95}			L _{max}				
平均	最少	最大	平均	最少	最大	平均	最少	最大	平均	最少	最大	最少	最大
75	74	77	72	72	73	70	69	71	81	77	85	0.0	3.6

注：1. 平均値は算術平均値である。

2. 作業時間帯（午前9時から午後6時までの間）の結果を表している。

騒音・振動様式第4号（埋立地関連）

低周波空気振動調査結果総括表[平成29年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日：平成29年10月12日～13日

調査時間	音圧レベル (デシベル)				風速 (m/s)	
	L ₅	L ₅₀	L ₉₅	L _{max}	最小	最大
06:00	73	69	68	80	0.0	2.7
07:00	73	70	68	81	0.0	1.8
08:00	71	68	67	78	0.0	1.3
09:00	75	73	70	78	0.0	1.6
10:00	77	73	71	85	0.0	1.5
11:00	75	72	70	80	0.0	2.3
12:00	75	72	69	80	0.0	3.1
13:00	76	72	71	83	0.0	2.4
14:00	76	73	70	81	0.0	1.4
15:00	75	72	71	84	0.0	1.9
16:00	76	73	70	82	0.0	3.6
17:00	74	72	70	77	0.0	2.5
18:00	76	70	67	85	0.0	1.8
19:00	76	71	67	86	0.0	2.8
20:00	72	64	62	83	0.0	2.3
21:00	76	65	63	83	0.0	2.3
22:00	72	65	63	79	0.0	1.6
23:00	78	65	63	89	0.0	2.5
00:00	79	66	64	89	0.0	3.2
01:00	78	67	64	87	0.0	2.4
02:00	76	65	63	86	0.0	2.4
03:00	69	64	62	80	0.0	1.9
04:00	75	68	64	83	0.0	2.1
05:00	75	68	66	83	0.0	1.8
最小値	69	64	62	77	0.0	1.3
最大値	79	73	71	89	0.0	3.6
平均値	75	69	67	83	0.0	2.2